



発行：玉置神社
発行人：弓場 季彦
TEL 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429

9月秋分の日 出雲大社玉置教会祖霊祭
10月23・24日 本社 宵宮祭・例祭
11月23日 新嘗祭



宮司(右)と岩崎責任役員



説明に聞き入る参加者



懇談会で意見交換

崇敬者の方々も増え続ける。ありがたいことです、しかし書面等の交流だけではよいのか。
北海道新十津川町には玉置神社の御分霊が鎮まっている新十津川神社、明治19年に十津川村民全員が出雲大社教に入会し玉置神社に隣接して出雲大社玉置教会が設立されたところであり、新十津川町には出雲大社新十津川分院が所在する。
7月11日岩崎責任役員会長代行にもご同行願い「ホテルグリーンパークしんとつかわ」において第一回玉置神社崇敬者のつどいを開催。現在把握させていただいている北海道地区の方は約30名。北海道は広い。しかし半数近くの方々が出席された。宮司と参加者が玉置神社、玉置教会の現状、目指す方向などご説明し、そのあと出席者の皆様と懇談。皆様方とご質問等のやりとりも心地よく3時間近く濃密な交流の時間が持てたと感謝の思いで一杯。北海道から参拝される方も珍しいことではなくなりつつあり、このつどいは工夫しながら定期的に開催し、皆様方と神社、教会との絆を一層大切にして参りたいですね。
玉置山でお待ちしておりますよ。

長時間濃密な交流、感謝で一杯です。

宮司講演



第一回玉置神社崇敬者のつどい開催

北海道
新十津川町

夏越大祓 茅の輪神事

今年も天候は安定しない6月30日。今にも雨が襲いかかり
 そうな中で夏越の大祓斎行。参拝者240名。「茅の輪くぐり」
 に60名が参列。茅の輪は数日前から設置し、大祓の後数日間
 はそのまましておくのを恒例としているが参拝される方々は
 説明板を興味深そうに読み、ていねいに茅の輪くぐりを何度も
 試みられる方々も少なくありません。

祭典を完了すると待ちかねたように雨が降り出しました。新
 たに参拝された方々が例年になく多かつたようで、そのような
 ことも玉置山の神々がご配慮してくださったのかな。
 皆様ご参列ありがとうございました。

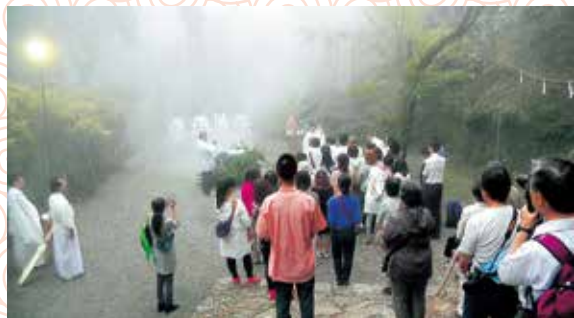
宮司玉串奉奠



責任役員玉串奉奠



神秘的な霧の境内で茅の輪をくぐる参加者たち



御焚き上げ

祓物を執り裂く

神事をみまもる参加者の皆さん

くにたまの会総会

大國主大神様を奉斎する神社の全国組織。会の総裁は出雲大社・千家尊祐宮司。発足してまだ3年目ですが既に会員数207社。本年度の総会は7月7日越中一の宮高瀬神社において開催され45社が参加。正式参拝させていただき総会、研修会、懇親会とつづく。その内容はご紹介しませんが全てのパートが上質。知識では得られないものが身体、心に入りこんで来るようでした。たくさんのお社が加入され交流されるとよいですね。関係者の皆様誠にお世話になりました。



出雲大社第5教区庁夏季研修総会

定例の夏季研修総会が本年ご担当の出雲大社礫山教会(和歌山県田辺市)において7月9日開催された。京都教務支庁、大阪教務支庁、兵庫教務支庁、和歌山・奈良教務支庁、滋賀・岐阜・福井教務支庁各管内から24名の皆様が参加。

正式参拝させていただき研修会へ移行。実務上の意見交換が中心。収穫あり。礫山教会の教会長倉山美千代様はじめ関係者の皆様お世話になりました。ありがとうございますごい



「恋しくて十津川」全国展開スタート



「恋しくて十津川」
作詞作曲者
福西輝恒さん

「恋しくて十津川」の作詞作曲者福西輝恒さんが7月24日来社。「恋しくて十津川」は6年前に風屋で初めてその歌を披露され、つづいて元OSK歌劇団の吉津たかしさん振付で風屋の盆踊りでもデビューされた。玉置神社の例祭等でも歌も踊りも奉納された経緯がありこのたびカラオケで全国どこでも歌えることになり玉置山の神々への報告とお礼に来社された。「多くの方々親しまれる歌、踊りとして一層広がってくれと嬉しいです。なお新曲も今準備している」と元気一杯の喜びの声でした。



盆踊り会場



振り付け中の吉津たかしさん(右から2番目)見よう見まねで踊る福西輝恒さん(左から2番目)

公益社団法人アジア協会アジアの会と交流



飲料水の供給、子供教育支援、環境保全を中心に活動している国際民間協力団体公益社団法人アジア協会アジア友の会専務理事村上公彦さん、奈良地区世話人野口明英さんたち8名の皆さん来社、7月24日。宮司と意見交換。話題は縦横無尽にかけめぐり愉快な、そして得るところ多い交流のひとつとまでした。

新十津川町児童生徒・教職員訪問団来社

恒例となった新十津川町児童生徒・教職員訪問団37名(引率者等を含む)の皆さんが7月22日来社。雨ということでも忙しく境内等を巡っておられました。毎年の訪れがありたくこれからもお待ちしておりますね。



大阪大学調査研究グループ参拝



山間状況を調査研究している大阪大学の学生さんたちが指導教官と7月22日来社。定期的な調査研究に来ておられるとのことですが、玉置山への参拝もかねてより熱望しておりましたと雨の中参拝され、宮司と暫しの歓談交流は笑いの渦。

大阪國學院 通信教育同窓会(かつおぎ会)

大阪國學院通信教育部で2年間お世話になったのはごく最近のように思われる。職を持ちながら神職資格を習得するには貴重な機会を与えてくださるところ。その方面の専門分野の範囲を超えた内容ではなかったかとすら感じ、加えて通信生であり東の間の交流であったが魅力ある方々と知りあえたこと、そのような時間を過ごせたこと誠にありがたし。



その同窓会が6月20日開催されました。大阪府神社庁長・大阪天満宮宮司寺井種伯様、近鉄会長山口昌紀様、大阪府神社庁副庁長・坐摩神社宮司渡邊紘一様・・・ご来賓、なつかしい先生方、諸先輩の皆様にもお会いできて幸せ。

商工会 雨中のクリーンキャンペーン



商工会青年部の皆さん中心に玉置神社境内、参道等を一齐清掃。雨をも蹴散らす如く諸道具をも用いてダイナミックな作業。迫力ありされど極め細やか。神々と参拝者の交流の場は雨なお陽様が微笑しているようでした。7名の皆様誠にありがとうございました。

台風11号襲来! 死をも覚悟の泊まり込み

今回11号は7月16日、17日の二日間わたり荒れ狂った。7月16日は宮司と職員2名で



ワイヤーで辛うじて落下を防いでいる常立杉

泊まり込み、夕方1名応援に来る予定だったがあまりの強烈さに危険と断念。台風襲来の対応は何度か経験あり手際よく体制を執る。16時頃まで頑張っていた職員1名帰途につく。常立杉がゆれている、恐いぞ!今上の別れになるかもしれないぞと大声で叫びながら風雨にあおられよめくように帰っていた。



常立杉の小牛大落下物

従前より参拝者、崇敬者の方々からも何故伐採しないのかとの声もあったが、伐採ではなく倒壊防止策を執るべしとの県の指導によりワイヤーロープを用いての倒壊防止策の申請を提出したが何故か遅々として進められず極めて危険な状態のまま台風11号を迎えることとなった。倒れ

てくる可能性大と見込み、泊まり込みの3名は死をも覚悟した。

16日夜9時風雨であおられながら3名は境内パトロールに向かう。小牛大の常立杉の腐った木が落下しているのを発見、社務所を直撃しなかったのは奇跡としかいようがなし。夜10時ミニミーティングをやり脱出できるチャンスがあるなら脱出しよう。しかし、常立杉のあの小牛大の腐った木が落下した音が聞こえないくらい唸りをあげている風雨の渦中ではそれもむづかしいな。

まんじりともせず夜明けを迎えた。風雨がきびしく17日は朝7時から境内パトロールに向かう。髪の毛が逆立つような常立杉の姿をみた。常立杉の巨大な腐った枝がちぎれて落下。途中ワイヤーにからまって辛うじてとまっていた。落下すれば社務所は大破間違いなし。その現状を9時頃県及び村の関係部署に報告。されど関係部署からは一人も現場チェックに現れなかった。これは現実か。詳細な経緯、記録は一層充実して残していかねばならないなどの思いを強めた。(17日現在)

石垣崩落現地調査

平成27年4月22日大峯奥駈道玉置神社境内茶屋前の石垣の一部が崩落。7月21日文化庁から五島昌也文化財調査官が現地調査。今後の対処についてスピーディかつ明確に(案)を示されました。

